

平成15年度
第13回 特別展

くらしの中で活躍する針

昔から人間生活を支えてきた針の歴史と生産技術について明らかにします。

会 期 / 平成15年11月1日(土)～11月30日(日) ※この期間は休館いたしません
会 場 / 日本工業大学 工業技術博物館 2階展示場
入場料 / 無 料

開催のご挨拶

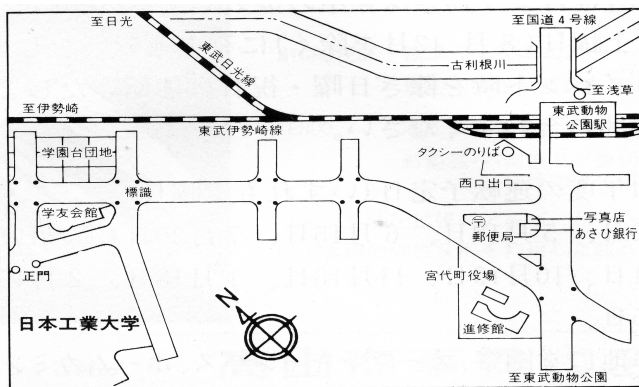
旧石器時代後期に人類が獣皮を縫合して防寒具を製作する道具として縫針を考案したのが、針の出現とされています。その後、針は生活様式の変遷とともに、時代ごとの最新技術に支えられて、生活の中に密着して発達してきました。現代、針は大きさ・素材を進化させて、衣料・食料・住居・医療・計測等の様々な分野で、不可欠な道具・構成部品となっています。特に、針を用いる作業では『緻密さ』を要求される動作が主体となるため、針は最新技術を駆使して、高精度で大量に製造されています。針は日常生活では不可欠な工業製品にまで発達し、あらゆる部門に浸潤して恩恵を与えています。

そこで本特別展では、工業技術発達の指針とも言える針の歴史や生産技術を調査することにより、わが国の機械技術史の一部を明らかにすることを目的としました。さらに、最新の針に触れて頂き、それらを創りだした『伝統技術』や『工業技術』への関心と理解を深めていただければ幸いです。

最後に、本展の開催にあたり貴重な資料をご提供いただきました皆様方に、厚くお礼申し上げます。

会場のご案内

- 開催時間 / 午前9時30分～午後4時30分
入館は午後4時までをお願いいたします。
- おながい / 小中学生は責任者ご同伴のうえご来館ください。
- 交 通 / 当館は、東武伊勢崎線の東武動物公園駅下車、約1300mの位置にあります。
- 問合せ先 / 日本工業大学 工業技術博物館 Tel. 0480-34-4111



主催 / 日本工業大学 工業技術博物館
協賛 / 日本工業大学 工業技術博物館後援会
後援 / 産業考古学会、オルガン針株式会社
株式会社ヨコオ、オリンパス株式会社

特別講演会のご案内

演題 / 最新医療に活躍する針
講師 / オリンパス株式会社
岡田 光正 氏
日時 / 11月20日(木) 午後1時20分より
場所 / 日本工業大学 学友会館 ホール

主な展示品と体験コーナー

- 戦後製造された竹製のミシン針
- 直径80 μ mのピン、直径10 μ mの鋼材から造られたバネ、外径96 μ mの金属パイプから構成されるプローブ
- 内視鏡下外科手術で穿孔に用いられる世界初の超音波トロッカー
- 各種の手縫針・ミシン針・編針とそれらの生産技術を紹介
- 蓄音機に使われた竹針や鉄針
- 針を用いた遊具・いろいろな蓄音機の体験

展示品の紹介



竹製ミシン針(右)と包装紙 (オルガン針(株) 殿 所蔵)



蓄音機に装着された竹製針 (林遊卯 氏 所蔵)

針は生活の必需品！ ぜひ、ご見学下さい！